



▲完走目指し、一斉にスタート

# 第17回 町民健康 マラソン大会

— 215人が健脚を競う —

好天に恵まれた五月二十七日、第十七回町民健康マラソン大会が運動公園で開催され、町内に居住、勤務する二百十五人が参加して心地よい汗を流しました。

開会式では、角田助役が「体調に気をつけて最後まで頑張ってください」とあいさつし、中谷教育長らが選手たちを激励。選手を代表して喜良市小学校六年の野宮大喜くんが「元気いっぱい走りきることを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

大会は、運動公園野球場を発着点とした各コースで競われ、小学校低学年は野球場を一周するコース、小学校高学年からは公道へ繰り出し、折り返してくるコースで健脚を競いました。角田助役の号砲で一斉にスタートした選手たちは、完走を目指し力走。ゴール前でデッドヒートを繰り広げる選手や自己記録を狙って走る選手、マイペースでマラソンを楽しむ選手など様々な姿が見られました。また沿道からは駆け付けた家族らが熱の入った声援を送っていました。

上位入賞者は次の通りです。



▶力いっぱい走る選手たち

◆小学校低学年男子 1km  
一位 平川卓弥(嘉瀬)

二位 今 優輔(喜良市)

三位 成田圭征(金木)

◆小学校低学年女子 1km  
一位 今 千鶴(喜良市)

二位 山田千明(金木)

三位 桑田悠斐(喜良市)

◆小学校高学年男子 1.5km  
一位 木下慈大(嘉瀬)

二位 前田一帆(金木)

三位 野宮大喜(喜良市)

◆小学校高学年女子 1.5km  
一位 川嶋麻耶(金木)

二位 川嶋理奈(金木)

三位 阿部ちひろ(嘉瀬)

◆中学校男子 3.5km  
一位 沢田年昭(金木)

二位 奈良享平(金木南)

三位 伊藤翔太(金木南)

◆中学校女子 3km  
一位 泉谷由李香(金木)

二位 飯塚 緑(金木南)

三位 浅利麻衣(金木)

◆一般女子 2km  
一位 今 敏子(喜良市)

二位 鎌田栄美子(喜良市)

◆三般男子、高校生 5km  
一位 棟方美暢(嘉瀬)

二位 大橋秀樹(金木消防署)

三位 佐野敬一(金木)

◆男子四十歳以上 3.5km  
一位 福士嘉雄(喜良市)

二位 工藤勇蔵(金木)

## 国民年金情報

### 年金受給者が

### 死亡したときは

### 届出を忘れずに



年金を受けている方が亡くなったときは、遺族の方はすみやかに「年金受給権者死亡届」を市町村役場へ提出して下さい。

この「死亡届」には、「年金証書」のほか死亡の事実を明らかにできる書類(戸籍抄本、死亡診断書など)を添付して下さい。

この届出が遅れますと年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますのでご注意ください。

また、死亡した方が受け取る

るはずであった年金額がある場合は、死亡当時その方と生計を同じくしていた ①配偶者 ②子 ③父母 ④孫 ⑤祖父母 ⑥兄弟姉妹 の順で未支給年金を請求することができます。

この場合、「未支給・年金保険給付請求書」に「年金証書」、「戸籍謄本」と年金を受けていた方と請求者が生計を同じくしていたことがわかる書類(住民票等)、請求者名義の講座の通帳等を添えて、市町村役場か社会保険事務所へ提出して下さい。

有料入館者数20万人突破

# 太宰治記念館 斜陽館



▶二十万人目の入館者となった榎内さんに中谷教育長から記念品が手渡される

平成十一年四月のオープン以来、全国から多くの太宰ファンが訪れている太宰治記念館「斜陽館」の有料入館者数が五月二十六日に二十万人を突破し、館内で記念セレモニーが行われました。

二十万人目の入館者となったのは札幌市の榎内誠さん。榎内さんは東北各地を自転車でひとり旅しており、その途中、斜陽館に立ち寄ったそう

で、入館後「二十万人目の入館おめでとうございます」と声を掛けられ、はじめは驚いた様子でしたが、中谷教育長から記念品が贈られると笑顔を見せていました。

藤崎町出身の榎内さんは「十八歳の時、藤枝溜池の改修工事に従事していたので斜陽館にも来たことがあります。思い出のあるところです。早速、札幌の家族に電話報告します。いいお土産ができました」と喜びを語っていました。

## ♥かなぎ公民館ブライダル情報♥

### HAPPY Wedding

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた方々をご紹介します。



2000. 5. 7

新郎 工藤清光さん(金木)  
新婦 長内寿子さん(鶴田町)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎53-3581)にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典等々たくさんの特典があります。

## 国勢調査

本年10月1日現在で、全国一斉に国勢調査を実施します。

国勢調査は、9月下旬から10月上旬にかけて、「国勢調査員証」を携帯した国勢調査員が世帯を訪問し、直接、調査票を配布・収集する方法により行います。

国勢調査と称して世帯の家族構成や会社の従業員の氏名などを電話で照会する「かたり調査」にご注意ください。



総務庁統計局 青森県金木町

太宰とその文学の魅力(6)

金木町太宰会々長

木下 巽

『雀』(三)

「…わらは、ふた組にわかれてみたくおん。かたかたの五六人、聲をしそろへて歌ったずおん。」

雀、雀、雀こ、欲うし。ほかの方圖のわらは、それさ應へ、

「どの雀、欲うし?」  
「歌ったとせえ。」  
「そこでもってし、雀こ欲うして歌った方圖のわらは、打ち寄り、もめたずおん。」

「誰をし貫ればええべがな?」  
「はにやすのヒサこと貫れば、どうだべ?」

鼻たれて、きたなきも。  
「タキだば、ええねし。」  
「女くされ、をかしぢやよ。」  
「タキは、ええべせえ。」  
「さうだべがな。」

そうした案配こ、たうとうタキこと貰るやうにきまつたずおん。  
「右りのはづれの雀こ欲うし。」  
「歌ったもんだずおん。」

タキの方圖では、心根つこわるくかかったとせえ。  
「羽こ、ねえはで呉れらえね。」  
「羽こ呉れるはで飛んで来い。」

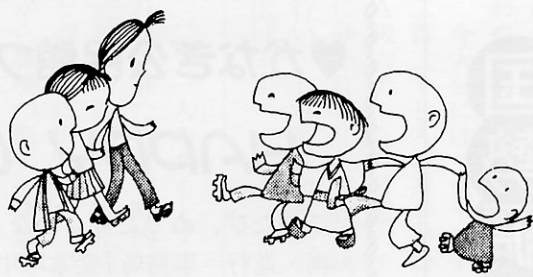
こちらで歌ったどもし、向こうの方圖で調子ばあわれに、また歌ったずおん。

「杉の木、火事で行かえない。したどもし、こちらの方圖では、やたら欲しくて歌ったとせえ。」  
「その火事よけて飛んで来い。」

向うの方圖では、雀こ一羽はなしてよこしたずおん。タキは雀こ、ふたかたの腕こと翼みんなに擴げ、ぱお、ぱお、ぱお、て羽ばたきの音をし口でしゃべりしゃべりて、野火の焰よけて飛んで来たとせえ。…」

雪解けの津軽、童児がふた組にわかれて雀に扮し、「雀こ、欲うし」の「子とり遊び」が描かれていきます。若干補説してみますと、「方圖」には「ほづ」と読み仮名が付けられています。共通語では「ほうず」で、「方圖もないこと」のように「きり。定め。限り。範囲。」などの意味に使われます。「ほかの方圖・こちらの方圖」のように短縮された形で「方。方向。」と、作者生得の津軽弁で表現されています。「はにやす」は「埴安」の屋号か…。「女(オナゴ)くされ」は、女を軽蔑した

言い方で「女なんか」。「心根つこわるくかかったとせえ」は「意地悪く振舞ったとサ」。「ふたかたの腕こ」は「両方の腕を」でしょう…。



▲「雀こ、欲うし」の「子とり遊び」

童 戯

この「雀欲しんじよ」は津軽地方の童戯で、古くからあったといわれ、津軽民族研究先駆者の内田邦彦氏の「津軽口碑集」に次のように収録されています。

【○児童等二群に分かれて一

- 方が先ず唱ふ。
- (甲) 雀こ欲しい
- (乙) どの雀こ欲しい
- (甲) 中の雀こ欲しい
- (乙) 羽こ無えで與られぬ
- (甲) 羽こ與るはで飛で来い
- (乙) 川にかつて飛ばれぬ
- (甲) 河の橋跳ねて来い

かく言ひ了りて小兒は反対側に走りゆく。」

この「津軽口碑集」は、昭和四年十二月の出版ですので、執筆資料として太宰さんは当然見えています。また、『雀こ』の描写を見て感ずるのは、この遊びを体験した人以上に詳細に再現しているということ。大正五年四月、金木第一尋常小学校に入学、大正十一年三月まで過ごしています。この間、こういう遊びがあったことは当然考えられます。この遊びの場面を太宰さんは、じつくりと見ていたのでしょう。

「ちようめんこ」

当時は、男女混合の遊びは少なかったということです。男の子と女の子が遊んでいると、「男ど女ゴト、ちようめんこ。鐘コ叩えで、なんまえた」とか、「男と女と遊んでちようめんこ、俺は加でねで泣がせんこ」と、からかい歌で囃したてられます。津軽では、「男女七歳にして席を同じゅうせず」というこ

とが浸透していた時代です。で、小さい男女が仲良くすることとは悪いことだと思つて、子供たちはそんな子供たちを囃したものです。「ちようめんこ」は、「ちようぼん・張本人」で、あることに備えて前もって準備するとか、事件などのもとなる人を「張本人」というよう。からかいよりも、うらやましきの気持ちで「ちようめんこ」と囃したものでしょう。

愛の交歓

『雀こ』の遊びは男女混合で、幼い愛の交歓の場ともなりま。日ごろ好意を抱いている相手と遊びという隠れ蓑を使つて自分に惹きつけようと苦心します。また誰が誰に好意を抱いているかを、ひそかに感じとろうとする胸のときめく遊びです。この作品における太宰さんの狙いは、こちらにあったという説です。

また「雀欲しんじよ」は「子とり遊び」「子買い遊び」「子買い遊び」などとも呼ばれる古い遊びで、類似のものが全国に分布しているとのこと。

いずれにせよ作品『雀こ』は、津軽の濃厚な民俗性と、津軽弁でなければ表現できない情念が感じられます。そして、太宰さんの優しい眼差しは、子供の遊びに向けられていること。

# 画像診断の進歩

外科医長 唐 牛 忍

最近の医学の進歩には目を見張るものがあります。臓器移植や遺伝子解明などテレビのニュースや新聞でよく取り上げられるものはもちろんですが、治療ばかりではなく診断の面でも数多くの進歩があります。今回は、さほど新しいことでもないのですが超音波とCT、そしてMRIについて述べてみたいと思います。

## 1. 超音波 (図1)

一般にエコーと呼ばれ、心臓や腹部など内臓臓器の他に甲状腺や乳腺など体表近くの部位の観察によく用いられます。これは体の表面から人間の耳には聞こえない五メガヘルツ前後の超音波をあて、その吸収や反射の具合を画像として表現するものです。腹部領域では胃や腸の質的診断には少し不向きですが、肝臓や胆嚢、脾臓には非常に効果を発揮します。心臓の場合も他の心電図などと組み合わせ

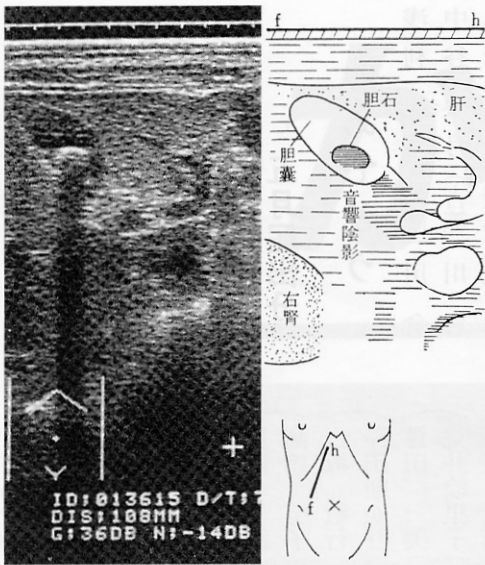


図1. 超音波2像 (右は説明図)

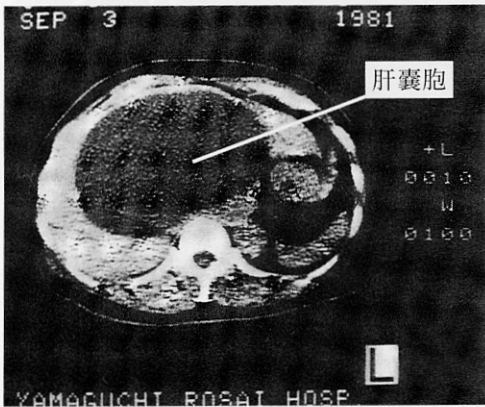


図2. CT像

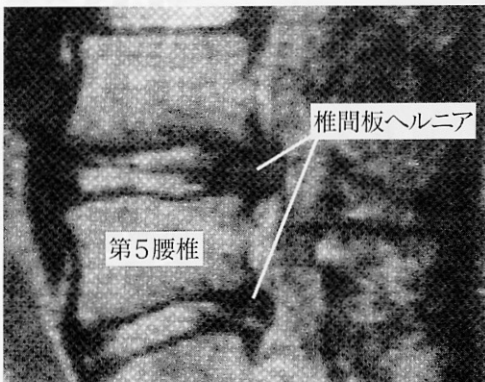


図3. MRI像

非常に重要な検査となります。2. CT (図2) これはレントゲンを三六〇度方向であて、それをコンピュータで分析するというものでコンピュータ断層撮影と呼ばれ、当院では昨年新しく二台目が入りました。骨など単一のもの撮る普通のレントゲンと違い、立体的に臓器をとらえられるため、より細かな情報が手に入ります。脳卒中やけがをはじめ、頭部の疾患には不可欠のものとなっていますが、肺や腹部臓器はもちろん、骨にも使われています。体を輪切りにして見る検査と思えばいいでしょう。3. MRI (図3) 最近普及してきた検査法に

このMRIがあげられます。これは核磁気共鳴装置といって、電波を使って人体の構成成分である水素に共鳴を起こさせ、その時間を画像化する装置です。特に脳や脊髄神経の検査に向き、また水平にも垂直にも画像を構築できるので多彩な観察ができ、最近では整形外科領域では重要な検査になってきました。以上三種類の検査とも最近では私たち医療者側の日常の診断には欠かせないものになっていますが、いずれも苦痛をほとんど伴わず、安心して受けられる検査です。これらは単独ないしは他のいろいろな検査と組み合わせ使われ、診断はもとより治療に対して

も数多くの情報を提供してくれます。最近ではこれらの検査法をよく耳にする機会があると思いますが、その内容や目的については担当の先生や看護婦に遠慮なく聞いて下さい。

## 伝言板

◎届いています

●五月一日 腕時計 (女性用シルバーのくさり)

●芦野公園内

●五月六日

●帽子三つ (青黒、ベージュ)

●芦野公園内

●五月六日 食器類一式の入ったリュック (エンジ色)

●芦野公園内

●五月六日 ジャンパー (青)

●芦野公園内

●五月十日 名刺ホルダー

●金木字菅原路上

●五月二十七日 カメラ (京セラ) と子ども用の帽子 (「いとちおり」と記載)

●芦野公園こどもランド内

●五月二十三日

●がま口の財布 (花柄)

●津軽鉄道車内

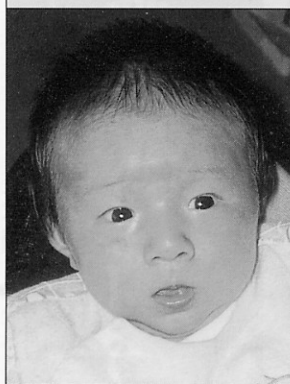
●心当たりの方は、金木警察署

●落し物係まで。

◎係から

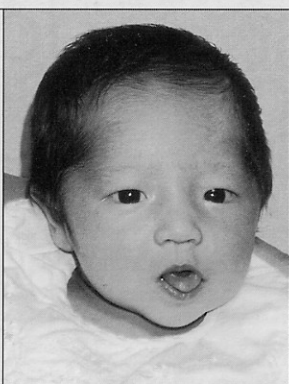
このコーナーを利用したい方は役場企画観光課まで。

# はじめまして



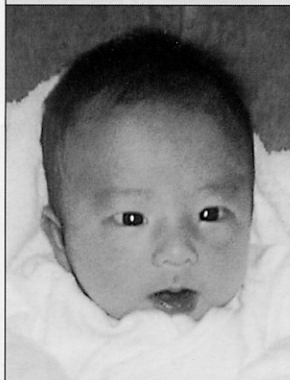
颯斗 (はやくと)

大きな手でたくさんチャンスをつかんでね！  
(両親より)



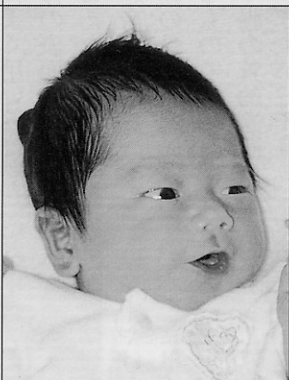
ちほ

こっ、この娘は「モーニング娘」に入れる!!  
(つんく)



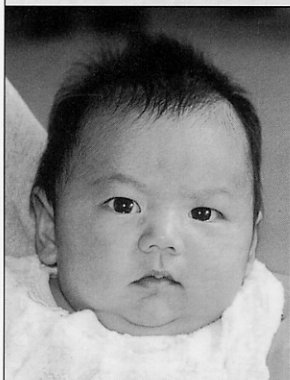
玲斗 (れいと)

健康で優しい子に育ってほしい  
(両親より)



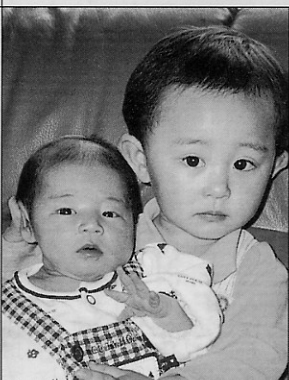
侑 (たすく)

お父さんに似て(?) かしこくなってね!  
(母 美智子より)



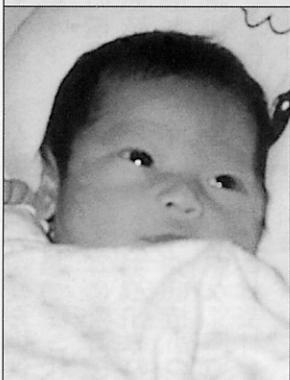
咲月 (さつき)

大きくなったら遊ぼうね  
(おねえちゃんより)



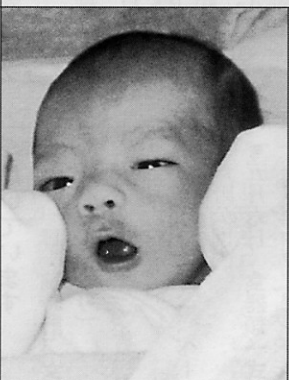
菜々華 (なな)

兄妹仲良く、健やかで、やさしい子になーれ  
(両親より)



すす

ますますかわいくなって下さい  
(家族より)



颯斗 (はやくと)

元気で明るく育ってほしい  
(父 健児より)

# 戸籍の窓

五月届出分

おめでとう

浅利 颯斗 (勝博) 川倉  
中谷 咲月 (吉範) 川倉  
白岩 侑 (康博) 金木  
木立 菜々華 (充) 喜良市

木下 玲斗 (常幸) 嘉瀬  
加賀谷 ちほ (尚) 金木  
工藤 颯斗 (健児) 金木  
三上 すす (大太郎) 金木

おしあわせに

川口 渉 (武雄) 蒔田  
高橋 房子 (秀一) 柏村  
古坂 敏行 (攻) 柏村  
澤田 ゆかり (修治) 嘉瀬  
鎌田 一美 (千代梅) 嘉瀬  
荒井 絵里子 (千里) 神奈川  
工藤 清光 (光則) 金木  
長内 寿子 (由春) 鶴田町

おくやみ

今 正秀 (正博) 喜良市  
大橋 寿美子 (久雄) 喜良市  
中谷 光幸 (兼光) 五所川原  
秋元 郁恵 (忠雄) 神原  
奈良岡 拓也 (敏春) 弘前市  
青山 志津子 (清海) 金木  
鳴海 カネ (86才) 嘉瀬  
白川 治実 (73才) 金木  
今 トシ (79才) 喜良市  
夏坂 よし (86才) 金木  
浅利 文雄 (47才) 川倉  
泉谷 アサ (89才) 川倉  
白谷 文雄 (89才) 川倉

鈴木 ハナ (85才) 喜良市  
前田 一雄 (71才) 神原  
宮崎 いゑ (81才) 喜良市  
須崎 正敏 (76才) 嘉瀬  
角田 要太郎 (80才) 金木  
今 武太郎 (85才) 喜良市

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

人口と世帯	5月末現在		前年同月比	
	男	5,755人	△	65人
女	6,329人	△	46人	
計	12,084人	△	111人	
世帯数	4,061		117	